

ミッションステートメント

計測・制御・システムの中核学会として、

- ①諸分野を横断して知を究め、新しい価値を創造し、
- ②関連分野・産学官のハブとなり、発信・連携することで、社会的課題の抽出・解決に貢献する。

社会貢献:

計測・制御・システムに関する学術及び技術の進歩発達を図り、文化の向上並びに産業の発展に寄与する。そのために、国内外の若手人材を育成し国際的に卓越した成果を創出／提供し続ける場を構築するとともに、分野横断を推進し新たな価値を創造する。

会員への貢献:

計測・制御・システムに関わる会員の分野横断的な活動を支えるために、専門性深化と知的創造、情報の発信と交換、学術体系化、産学官連携推進などを効果的に実現できる場を提供する。

国際貢献:

Annual Conference (AC) 開催や英文論文誌発行を中心に、アジアそして世界における計測・制御・システム分野の研究・技術の発信と提案を進める。さらに標準化の推進において国際的役割を果たす。

学協会組織への貢献:

国内外の学協会連携組織および連携活動に参加し、関連学術・技術分野の縦横断的な連携の強化に取り組む。

基幹事業

- ・ Annual Conference(AC) 開催
- ・ 部門主催講演会、支部主催講演会等の開催
- ・ 部門・支部内各種事業および研究会活動
- ・ 各種セミナー・展示会・見学会開催
- ・ 関連国際会議、国内会議、展示会の共催・協賛
- ・ 国内外学協会・工業会等との連携
- ・ 学会誌、論文集発行
- ・ web等による情報発信
- ・ 技術者教育と資格認定
- ・ 標準化活動
- ・ 各種学会賞贈呈
- ・ その他

中期的課題

- ・ 支部再編によるサービスの拡大とインセンティブ見直しによる部門活動の強化
- ・ 新たな社会に向けたSICEが提供する価値領域の見直し（「なにを」「なぜ」「どのように」）
- ・ Webやイベントを活用した学会活動の見える化と情報発信の多様化によるSICEの社会に対する貢献の周知
- ・ 英文論文集およびACへの海外からの論文投稿および参加者の拡大による真の国際性獲得
- ・ ACの定期的海外開催およびSICEに密接に関連する重要国際会議への積極的支援（アジア諸国との組織的連携によるプレゼンス向上）
- ・ 企業（賛助会員等）を対象としたイベント開催による企業技術者教育と情報発信強化、非会員に向けた情報発信
- ・ SICEの事業および業務の適正化による収支改善
- ・ "SICE人材像"の再定義と社会と繋がる人材の育成
- ・ AI, IoT, ビッグデータ等新しい技術に関するSICE企画
- ・ 計測・制御・システムの学術分野としての参照基準の検討
- ・ SICE60周年記念事業（2021年）の実施

2019年度事業計画

- ・ 支部再編に向けた意向調査に基づく協議と部門へのインセンティブルールの見直し（部門、支部、財務）
- ・ 新たな付加価値領域を探るための部門横断による作業部会の推進（企画委）
- ・ Society5.0におけるSICEの役割明示とそのプロモーションのために、講習会開催や会誌発行による、メーカ、サービス、ユーザ企業さらに異業種を含む社会への情報発信（部門、支部、会誌委、AC委）
- ・ プロセス塾の成功事例をモデルに、AI/IoT/ビッグデータ塾（仮称）を企画（教育委）
- ・ 発信力強化のためのホームページの継続見直しと魅力を高めるコンテンツの充実とSICE事業番号付与（事業委）
- ・ 英文論文集の国際的評価基準（ESCI、Citation Index等）獲得へ向けた活動の継続（論文委）
- ・ 和文論文誌と英文論文誌の位置づけおよび編集方針の見直しによる投稿数拡大（論文委）
- ・ SICE2019（広島）での国際化推進イベントの企画（AC委）
- ・ AC（SICE2020）のタイ開催に向けた準備（AC委）
- ・ IMEKO2021、IROS2022、IFAC2023の開催推進（国際委）
- ・ SICE2019（広島）に向けた広報、および日本語WS併設による企業が集まるセミナー企画（AC委）
- ・ 直轄、部門、支部および事務局の業務見直しと効率化の推進（総務委、財務委）
- ・ 部門と支部を中心とした会員情報DBの整備による会員管理及び会員数拡大（部門、支部）
- ・ SICE人材像の見直し（企画委）
- ・ Y60（SICE60周年記念事業）準備委員会の推進（総務委）